

第9回 多摩市自治推進委員会 要点記録

日 時：令和8年4月20日（月） 19：00～21：00

場 所：永山公民館 視聴覚室

出席委員：白鳥光洋委員長、長野基副委員長、中島ゆき委員、牛腸哲史委員、山田寛子委員、
和田あずみ委員（オンライン参加）

オブザーバー：一般社団法人コミュニティネットワーク協会 渥美京子理事長、中央大学国際経営学部 中
村大輔教授、合同会社M i c h i L a b 高野義裕代表

事務局：小形協創推進室長、鈴木次長、菊池担当主査、西村主査、ウィエック、永田

傍 聴 者：0名

議事次第：配付資料「第9回 多摩市自治推進委員会 議事次第」のとおり

1 開会

委員長 第9回第九期多摩市自治推進委員会を開催する。

まず、事務局から資料の確認をお願いしたい。

事務局より、配付資料の確認を行った

委員長 次に、第8回委員会の要点録の原案について、修正はないか。

修正はないようなので、これで確定とする。

1 協創の実現に向けた取組み・検討状況報告

委員長 まずは、次第1「協創の実現に向けた取組み・検討状況報告」です。現在の取組み状況について、事務局から報告をお願いします。

事務局より、資料24、参考資料1に基づき報告

委員長 事務局からの報告は終わりました。続けて事業に関わっているオブザーバーからそれぞれのエリアでの活動の報告や今後の進め方についてご発言をお願いします。

オブザーバー 東寺方小エリアでは、7年度の取組みに効果が見られたので、8年度も同様にエリアミーティングと協創ミーティングの二層構造の手法で実施予定である。2月14日に開催した合同ミーティングでは、高校生2人が参加し、どうしてもやりたいことがあるとのことで発表いただいた。普段の参加者の中では一番若い大学生も刺激を受けていた。これから若い世代を中心に多世代の方々が参加したくなるしかけを考えていく。

オブザーバー 東愛宕中エリアでは、2月21日に未来ミーティングを行い、フューチャーデザインの手法を参考にまちの未来を考えるワークを実施した。20代～40代の方々の参加もあり、様々な意見が出た。都営住宅の建替えて東寺方から引っ越してきた30代の参加者からは、転居によってコミュニティへ参加出来ていないとの話があり、小中学校の保護者を中心に6月27日にコミュニティプレイスあたごを使った交流企画を予定している。Wi-Fiや全自動麻雀卓、卓球台があるとところが魅力とのこと。企画の参加者を今年度のミーティングにもつなげていきたい。

オブザーバー 諏訪中学区の3月28日に実施したエリアミーティングでは、3つのアイデアが出て、

動き始めている。大きなシャボン玉をつくりたいグループ、団地ツアーをしたいというグループ、日本酒好きで集まりたいというグループの3つ。シャボン玉グループは5月23日のすわ新緑まつりで実践予定。これまでのエリアミーティング参加者発の諏訪・永山れきし散歩の企画もその日に実施予定。夜には日本酒グループの企画が既存のイベントの中で実施される予定。団地のグループはURへのアポイントの内容をまとめている段階。6月14日のエリアミーティングでは、7月の風の森バザールや11月のあしたやいちをアウトプット先としてアイデア出しできればと考えている。青陵中エリアでは、7月17日の夜に合同会社M i c h i L a b、一般社団法人ハピプラ、NPO紬との共催で、八角堂で食を通した交流会を行う予定。

委員長 それぞれのエリアで良い動きが生まれている感じがする。これまでの取組状況や今後について、ご意見・ご質問等があればお願いします。

委員 東寺方小エリアの合同ミーティングに参加した高校生のやりたいこととは？

オブザーバー 家にこもりがちの若者や子どもがスポーツをするきっかけを増やしたいとのことで、誰でも安全に参加しやすいタグラグビーをしたいとの話だった。連携したいと考えている東寺方小学校の放課後子ども教室は、体制が大きく変わり、以前は月一回程度だったが、現在は市の委託先が実施主体となって、毎日やっているよう。連絡を取っていききたい。

委員 多摩市の公民館等にはW i - F i はないのか？

事務局 公民館やコミュニティセンターでも部分的にフリーW i - F i を導入している。

オブザーバー W i - F i を入れることによるデメリットとして、冷房があるところは特に、夏場に子どもたちの遊び場になってしまうことがあり、グリーンライブセンターでは導入を見送っている。パルテノン多摩の4階等、ゲームをしている子どもたちが多く集まっている状況がある。

委員長 そのような場がゲームをするだけでなく大人と交流する機会や悩み事を聞く場になると良いが。

委員 W i - F i 環境があるところに多く集まってしまう傾向もあると思うので、関わりを増やす工夫ができると良い。

委員長 コミュニティプレイスあたごには麻雀卓があるのか？

オブザーバー ある。健康麻雀を楽しむ子どもも多いようで、子どもに関わる大人を増やしたい。先日は小学生2人が、児童館でシール交換をしてはいけないと言われて、コミュニティプレイスあたごに来た。

オブザーバー シール交換の人気はすごい。3月のヨムカムマルシェでシール交換の企画を行ったが、130人の小学生が集まった。

副委員長 ツナたま補助金については、市民発意型を5件から10件に増やしたとのことだが、事務局による伴走支援のキャパシティは問題ないと考えたうえでの判断なのか？

事務局 どのようなものが選ばれるかによるが、支援の程度や活動に応じて、適切に支援できるよう取り組んでいきたい。7年度は採択後に各団体にヒアリングを行い、どの程度支援が必要か話しながら進めた。今年度も確認しながらやっていきたいと思っている。

委員長 協創サポーターも活用できると良いのではないか。

オブザーバー 昨年度の採択団体は5チームのうち3チームは自走できる方々だった。

委員長 昨年度の採択団体からの応募は対象外とするのか？
事務局 同じ団体という理由だけでは対象外としないが、新規性が評価項目としてあるため、昨年度と同じ事業内容であれば評価は高くなると見込まれる。

2 諮問事項に関する意見交換

委員長 続きまして、次第2「諮問事項に関する意見交換」です。事務局から、これまでの委員会における議論を踏まえた中間答申の構成や、いくつかの論点整理等情報提供をお願いします。

事務局より、資料25、参考資料2に基づき情報提供

委員長 質問等あるか。

委員 世論調査の貝取地区の回答が否定的な評価という主旨の説明があったが、サンプル数が少なく、誤解につながる恐れがある。考察については見直しをする必要があると思う。貝取の方が否定的な意見が多いように見えるが、母数が少ないため、ひとりふたりの意見の違いで逆転する可能性がある。

オブザーバー 居住者としての感覚からもそこまでの違いはないのではないか。

委員 違いがあるとすれば都営住宅の数くらいか。

委員 3段階評価にして漠然と差を見る方が良いと思う。そうすると地域ごとの差は大きくならない。貝取・豊ヶ丘地区と市全体の比較が良いのではないか。細かい違いはヒアリングの中で聞けば良いと思う。

オブザーバー 資料P3、4の増要因と減要因の見方について、R4とR8の年代ごとの人口を比較しても世代は変わっていくため妥当ではないのではないか。

委員 人口の推移は社会減と自然減で見るとわかりやすい。

事務局 年代の比較にしているため、わかりにくくなっている。

委員 豊ヶ丘1丁目の方は社会増の要因がありそうだが、駅から離れれば離れるほど社会増は減ると読み取れる。

オブザーバー 家が増えるところと増えないところとある。ポスティングしている肌感覚としては、空き家は減っている。どの世代が入ってきているかはわからない。

委員 モデル地区としてどうしていくかを議論するベースになるデータのため、地域の課題が見やすいものだと良い。

副委員長 資料25の各データは、令和7年度の国勢調査の速報値という認識で良いか？

事務局 本資料は令和7年度国勢調査の速報値ではなく、市が現在把握しているデータを根拠に作成している。

委員 P20のPTA役員が書いていない学校はいないということか？

事務局 「豊ヶ丘中」となっている箇所が「豊ヶ丘小」の誤り。

委員 PTA連合会は厳しい状況にはなっているが、このエリアの各校のPTAは活動が継続している。

委員 青少年問題協議会（青少協）の地区委員会はどうか？

委員 活発に活動している。それもあってか青陵中のPTAの青少協担当役員も仕事量が多く大変さはあると聞いている。P22の地域のプレイヤー等への個別ヒアリングはどのよ

うに進めていく予定か。

事務局 6月からできるように検討しているところ。実際に活動されている方の意見を聞きながら、現状整理をしていく。

委員 肌感覚や困りごとを聞くことができると、検討につながると思う。

事務局 会議の日程等を統合してみると、連日、分野ごとの地域での会議があるのが現状。

委員長 会議自体を減らすか、棚卸をやっていかなければいけないと思う。その手伝いをしていくことも必要だと思う。提言にも入れていけると良いのではないかな。ヒアリングは基本的には事務局が進めて報告してもらおうということで良いのか。

事務局 質問項目は委員のみなさんにも確認いただければと思っているが、日程の都合を考えると、実際に聞きに行く部分は事務局で進めていく予定。

副委員長 ヒアリングの業務を協創サポーターがやってはいけないのか。調査の場に同席できると良いのではないかな。

事務局 基本的には事務局でと考えていたが、2年目は4回活動することもあるので、研修として、入らせてもらうのも良いかもしれない。活動前の座学でも地域の現状は伝えていく。

副委員長 協創サポーターの職員にとってリアルな声を聴く良い機会になると思う。

事務局 先日、青少協の会長が集まる会議でも協創サポーターについて周知した。同じ地域に連続性を持って関われるように設定していきたいと思っており、イベントとヒアリングをともに経験してもらうのも良い。

委員長 P22の既存のプラットフォームの会議への参加というのは誰が担うのか？

事務局 事務局が参加する想定をしている。

委員 地域全体の管理運営業務委託ではどのような関わりをしていくのか？

事務局 これまで中間支援団体をお願いしていたエリアミーティングの実施や地域プラットフォームの検討をお願いしたいと考えている。9月から委託する予定。

オブザーバー 合同会社M i c h i L a bとしても、引き続き、地域との関係性を活かして活動していく。

事務局 これまでの複合施設のワークショップに参加した方々とも関わり、施設整備に向けた期間も他の社会資源を使いながら検討を進めていけるようにしたい。

委員 改修中に活動を続けていく代替施設はどういうところを想定しているか？

事務局 豊ヶ丘南公園やコミュニティセンターの他、八角堂も地域活動の拠点になるのではないかな。

委員長 豊ヶ丘複合施設建替えのスケジュールを改めて整理するとどうなるか？

事務局 令和9年度に解体と設計、10、11年度で建築、12年度に開館を目指す。

委員 公共交通系のデータがもう少し欲しい。どのくらい生活に影響がある状況なのか。住環境を知りたい。整備していく方向や状況が見えない。業者が入る予定があるのかないのか等。

委員長 業者というのは？

委員 コミュニティバスのようなものや乗り合いの動き。病院や駅へのアクセスが悪いところは地区ごとに運用しているところもある。マッピングして、病院や学校等の公共施設やスーパー、バスのルートが見えると良い。

オブザーバー バスでいえば本数は減っている。どのような影響があるのかはわからない。使っている

バス停によって高低差の違いもある。

委員 概ね徒歩圏内にスーパーがあるので、移動販売が必要なほどではないが、エレベーターがない団地に住む高齢者は上下移動が大変。物を運ぶところを強化するのか、移動するところを支えるのか。

委員 みんなで地図上に課題や資源をマッピングできると良い。地理的な特徴と地区的な特徴が見えると、ヒアリングで聞きたいことも浮き彫りになる。

オブザーバー 地域の特徴として愛宕の高齢化とも特徴が違う。愛宕は都営が固まっているが、貝取・豊ヶ丘地区では小さな団地がばらばら点在している。

オブザーバー 昔はそうした団地が地域でまとまってお祭りやイベントを実施していた。ランタンフェスは行われているが、地域横断型で立ち上がったイベントとは違う。

オブザーバー 5年後を考えてみると、地域の担い手や行事は、かなり危機的状況にあると思う。

オブザーバー 団地のまつりを手伝った際には、70代の方々が先陣を切ってやっていた。これから先も同じようにできるとは限らない。

委員 認知症の家族のサポートや孤独感等という課題感もあり聞かないが、少ない状況なのか？

オブザーバー 中部地域包括支援センターが相談機関となっているが、高齢者の人数が多く対象はあると思うが、把握しきれていないのではないかな。

事務局 中部と北部では他と比べて高齢者が多い地域でもあるため、見守り相談窓口を置いている。

委員長 P21に書いてある地域のプレイヤーも年齢が高い方々であろう。

オブザーバー 学校林の活動をしている方々にもヒアリングをしてほしい。学校林の活動だけは参加しているという方もいる。現役世代は多い。

事務局 参考資料2にも記載しているが、豊ヶ丘小の地域学校協働本部の活動として、学校横の林を整備する活動がある。

委員長 地域未来塾等も若い世代が多く関わっているのか？

事務局 把握していないが、核になる人は同じかもしれない。学校の活動のみに関わっている方々にいきなり協議会型のプラットフォームに入ってもらうのは難しいのではないかな。

委員長 役割によっては同じ人が、ハブやコーディネート役にならないと難しいという側面もあるかもしれない。多摩市の地域学校協働本部は全国でも先進的かな？

事務局 文部科学省がコミュニティ・スクールの仕組みを全国で進めようとしており、多摩市でも早い段階から始めている。

委員 学校運営協議会の運営は校長と副校長が担っている。地域学校協働本部の方がより柔軟に地域と学校で何ができるかを考えているイメージ。

委員 次の議論に進むには、冒頭にそれぞれの課題をまとめる必要がある。公共施設、公共交通、子育て、地域福祉、地域活動等それぞれの分野で何が課題なのかを、この地域のデータを仮説として、ヒアリングに行けると良い。

オブザーバー 人の流れの多くは駅周辺だと思うが、豊ヶ丘複合施設や商店街周辺を軸として人が集まるには何があると良いのかという議論ができると良いのでは。コミュニティプレイスあたごでは、生協の宅配を受ける場を開いてくれないかという要望があった。

委員 公共交通不便地域もどのあたりなのか。高低差がどこにあるのか等知りたい。

オブザーバー スーパーも複数あり、買い物の場所は少なくはない。ただし、上下移動が必要なところ
と平坦移動できるところとある。

委 員 地域包括支援センターの相談件数も分野ごとに見たい。

副委員長 小学生や中学生が総合学習の時間の成果から提言をまとめて市役所に出すという取組み
をやっていると思うが、コミュニティ開発系のものはどこで受けているのか。

事 務 局 子どもみらい会議のことかと思う。10年近くやっている取組みでこれまでは教育委員
会が担っていたが、近年では市長部局も一緒に運営しており、提案への回答もまとめて
公表している。提案内容としては、ゴミやリサイクル、省エネ等の自然環境のものが多
く、他にも少子高齢化、障がい者との共生、商店街の賑わい、防犯について等のテーマ
がある。コミュニティ関係は協創推進室にも情報が届く。

副委員長 このエリアの学校も出ているのか。

事 務 局 輪番でやっている。貝取・豊ヶ丘からも順番には出ている。

委 員 長 高校生になると市外へ出て行く人も多いか。

委 員 そうだと思う。都立高校は永山高校のみであり、進学先はそれぞれである。

オブザーバー 草取り等、団地ならではの活動が残っている。それを活かせると良い。

委 員 長 次回、地図ベースで議論出来たら良い。任期も迫っているため、半端なところで議論が
終わってしまうか。ここまでの議論がわからないと今後の検討も難しいと思う。

委 員 当初のスケジュールどおりで答申を出すということか？

委 員 長 11月にどのようなものを最終答申として出せるのか。課題をあげるくらいか。

事 務 局 多主体の連携を増やすにはどうしたら良いかというのが諮問事項。10期に向けて、こ
ういう風に検討を進めて欲しいという報告として出してもらいイメージも持っている。

委 員 長 次期に議論を継続するとして、続けるのが難しいという方はいないか。

事 務 局 委員の選出区分が決まっているので、公募市民枠の選出は行う必要があるが、議論を継
続しやすい形にはしていきたい。

3 その他

委 員 長 続いて、次第3の「その他」です。事務局より、何かあればお願いします。

事 務 局 次回は6月29日（月）午後7時から同じ視聴覚室で開催。ツナたま補助金の審査会は
8月2日（日）で予定をお願いしたい。場所は、中央図書館等、幅広く見に来てもらえる
会場を抑える予定。

委 員 長 質問等なければ、第9回の多摩市自治推進委員会をこれで閉会する。

□ 閉会